

としょかんひろば

本と出会い、人と出会い、仲間が生まれる図書館 2022年3月 第250号

Books are for all 東近江市立永源寺・愛東・湖東図書館

図書館カレンダー

永源寺・愛東

■はお休み（第4金曜日は原則整理休館日）

永源寺図書館東側 通行できません

永源寺図書館東側の交差点は、ラウンドアバウト(環状交差点)化工事のため、3月中旬まで通行止めになっています。恐れ入りますが、国道421号線の「山上小学校前」から和南町を経由しておいでください。

3月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

4月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

湖東

澤田弘行写真展
「トンボと山野草を
追いかけて」
3月10日(木)~27日(日)

3月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

4月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

** 3月の映画会 **

<永源寺図書館>

19日(土) 14:00~15:40

「去年マリエンバートで」(洋画・字幕)

<湖東図書館>

12日(土) 14:00~16:00

「ショウほど素敵な商売はない」(洋画・字幕)

** ごぞんじですか **

インターネットで、図書館の資料を検索したり
本や雑誌のバックナンバーを予約することができます。
右のQRコードから、図書館ホームページにアクセス
してみてください。

※予約には図書館で発行するパスワードが必要です

各館の開館時間・連絡先

永源寺図書館 開館：10時~18時
tel:0748-27-8050 IP:050-5801-8050
fax:0748-27-8090

愛東図書館 開館：9時~17時
tel:0749-46-2266 IP:050-5801-2266

湖東図書館 開館：10時~18時
(木曜日のみ20時まで)

tel:0749-45-2300 IP:050-5801-2300
fax:0749-45-3343

図書館ホームページ→



あたらしくはいった本（永源寺・湖東・愛東図書館に入った主なものを紹介します）

くらし・健康

大阪神戸京都カフェ・喫茶店地図本

子育てに迷ったときのお母さんへの言葉

絵でわかる京都・お灸堂のほどよい養生

糖尿病の？がわかる！イラストBOOK

肌トラブル大全

ほんとうの「食の安全」を考える

佐々木 正美／著

すきさん／著

細井 雅之／編著

小林 智子／著

畝山 智香子／著

京阪神エルマガジン社

大和書房

学研プラス

メディカ出版

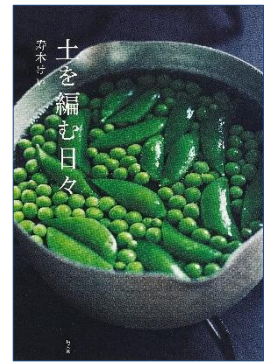
WAVE出版

化学同人

『土を編む日々』 すずき 寿木けい／著 集英社

水上勉のエッセイ「土を喰ふ日々」を目指して書かれたこの本のタイトルは「土を編む日々」。食べ物にまつわる記憶を縦糸に、レシピを横糸に編み上げられています。四季の中で、何気ない日常のハッとするようなひとときとともに紹介されるシンプルなレシピは、読むだけで野菜のにおいまで感じられるよう。SNSにあふれる料理の写真より、丁寧に編まれた文字からふくらむ想像力が、作ってみようという気にさせてくれます。

ニラたっぷりのカレーを作ってみました。ニラの香りがガツンとくる、ちょっと忘れられない味のカレーでしたよ。



サステイナブルに暮らしたい

長生き地獄

ゆとりある日々を過ごしている人の素敵なお金の使い方

つけ襟ライフ

こうの早苗の楽しい布つなぎ

リュウジ式至高のレシピ

印度カレー子のスパイススープ

おうち韓食(ハンシク)

暮らしを彩る和食器具

家じゅうの「めんどくさい」をなくす。

世界一楽しい子育てアイデア大全

知識ゼロからの有機・無農薬の家庭菜園

服部 雄一郎／著

森永 卓郎／著

川端 さよこ／著

こうの 早苗／著

リュウジ／著

印度カレー子／著

重信 初江／著

阿部 悦子／著

sea／著

木下 ゆーき／著

本多 勝治／著

KTC中央出版

KADOKAWA

扶桑社

文化学園文化出版局

日本ヴォーグ社

ライツ社

Begin

主婦の友社

食べもの通信社

ダイヤモンド社

KADOKAWA

家の光協会

社会・教育・福祉

ゼロからわかる人工知能

集中力強化大全

ちょうどいい孤独

旧約聖書人物図鑑

鎌倉殿を歩く

愛知の昭和30年代を歩く

ニュートンプレス

ライフ・エキスパート／編

鎌田 實／著

山我 哲雄／監修

伊東 潤／著

溝口 常俊／編著

河出書房新社

かんき出版

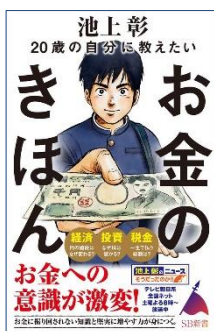
東京書店

歴史探訪社

風媒社

『20歳の自分に教えたいお金のきほん』 池上彰／著 SBクリエイティブ

新型コロナウイルスの感染拡大で経済は大打撃を受け、人々の経済行動も大きく変わりました。また、高校では2022年度から、家庭科で投資の基礎を学ぶ授業が始まります。このような中、経済のニュースに関心を持つ方も多いのではないのでしょうか。本書では、ニュースでお馴染みの池上彰氏が「円高・円安」「外国為替」「消費税」といった今さら「知らない」とは言いづらい言葉を、一から、丁寧に、やさしく解説しています。経済・投資・税金の、なぜ？どうして？を基礎の基礎から、総復習できます。



だれも知らないイスラエル	バヴァ／編著	花伝社
介護等に貢献した娘・息子・嫁・婿、配偶者のためのあたらしい相続のかたち	山田&パートナーズ／編著	日本法令
ルポコロナ禍の移民たち	室橋 裕和／著	明石書店
なぜ人に会うのはつらいのか	斎藤 環／著	中央公論新社
帰れない村	三浦 英之／著	集英社
校則改革	河崎 仁志／編著	東洋館出版社

自然・ビジネス・産業

エントロピーの世界	鈴木 誠治／著	朝日新聞出版
火星の歩き方	臼井 寛裕／著	光文社
JAXAの先生！宇宙のきほんを教えてください！	中谷 一郎／著	ポプラ社
昆虫飛形図鑑	三橋 淳／著	八坂書房
虎	岩合 光昭／著	クレヴィス
2050年の地球を予測する	伊勢 武史／著	筑摩書房

『図鑑を見ても名前がわからないのはなぜか？』 須黒達巳／著 ベレ出版

庭先にやってきた知らない鳥、散歩道で見つけた知らない草花。そんな「知らない生きもの」に出会って、名前を知りたいと図鑑をめくってみたものの、それが何なのかかわからない。そんな経験をしたことのある方も多いのではないのでしょうか(我々図書館員もよくやります)。実は、図鑑からその生きものが何であるかを確認する=同定のためには、ぱっと見の姿かたちが似ているものを探すだけでは不十分。体の部位や葉の形状など、見分けるポイントを知り、よく観察して合致していることを確認するのが大事なのだそうです。小学校教諭でありクモの研究者でもある著者が、生きものを見分ける目のつくりかたと、「名前を知る」ことの喜びについて語ります。



政策起業家	駒崎 弘樹／著	筑摩書房
塗装職人。	日本建築塗装職人の会／編	サンライズパブリッシング
送電鉄塔ガイドブック	送電鉄塔研究会／著	オーム社
もし幕末に広報がいたら	鈴木 正義／著	日経BP
「やりがい搾取」の農業論	野口 憲一／著	新潮社

芸術・趣味

『ぐりとぐらのたまご』 中川李枝子／著 山脇百合子／絵 ブルーシープ



1963年の初版以来、多くの子どもたちに愛され読み継がれてきた『ぐりとぐら』。「子どもたちが夢中になれるおはなしをつくらう」と、28歳の保育士だった中川李枝子さんがおはなしを紡ぎ、妹の百合子さんがぬくもりのあるすてきな絵で描きました。本書は、東京・立川のPLAY! MUSEUMで開催中の「ぐりとぐら しあわせの本」展(4月10日まで)にあわせて刊行されたポケットブックです。「おいしいもの」「いえのなか」「そとのせかい」の三章にわたって『ぐりとぐら』の世界を紹介しています。ページを辿っていくと、黄色く焼きあがったおおきなカステラにわくわくした、なつかしくも心弾む時間に戻って幸せな気持ちになります。

ウイスキーを趣味にする	CROSSROAD LAB／著	マイナビ出版
妄想美術館	原田 マハ／著	SBクリエイティブ
もっと知りたい佐伯祐三	熊田 司／著	東京美術
暮らしの民藝	萩原 健太郎／著	エクスナレッジ
カミキの〈気持ち伝わる〉贈り物おりがみ	カミキ／著	日本文芸社
紙コップとわりばしと段ボールで作る動くペーパークラフト	しんらしんげ／著	KADOKAWA
講談最前線	瀧口 雅仁／著	彩流社

ことば・文学・小説

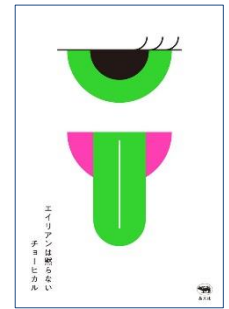
絵本で教えるにほんご
読書会の教室
一万円選書
「させていただく」の使い方
それいけ！方言探偵団
図説花開くアメリカ児童文学
伊賀の人・松尾芭蕉

野呂 きくえ／著
竹田 信弥／著
岩田 徹／著
椎名 美智／著
篠崎 晃一／著
ちば かおり／著
北村 純一／著

スリーエーネットワーク
晶文社
ポプラ社
KADOKAWA
平凡社
河出書房新社
文藝春秋

『エイリアンは黙らない』 チョーヒカル／著 晶文社

著者は、人の体や身の回りの物に、本物そっくりのペイントをする作品で知られるアーティスト。自分のことを周囲から浮き上がったエイリアンのように感じてしまい、空気を読めずに変な発言をしてしまうことや、「女らしく」できないことなどに苦しんでいた彼女が、ありのままの自分や感じたことを、黙らず隠さず話していこうと綴ったエッセイです。不器用な恋のこと、体や性のこと、ニューヨークでの生活や、世間に対して感じた違和感などを、時にゆるく、時に声高に語っています。



『^{こくびやく}黒白の一族』 空家に越してきた10人の女系家族。隣人がそのルーツを辿ると……
『母の待つ里』 家庭も故郷もない3人の男女に「理想のふるさと」への招待が舞い込む
『ボタニカ』 貧苦にめげず、妻を支えに、植物学の道を開いた天才・牧野富太郎の生涯
『奔流の海』 台風のもたらした豪雨から20年。夜な夜な町を徘徊する大学生の正体は
『雨の日には車をみがいて』 懐かしの名車、女性たちとの恋。1988年作品の復刊
『威風堂々 幕末佐賀風雲録』上・下 日本を近代国家へと導いた男・大隈重信が駆ける
『月の光の届く距離』 「グリーンゲイブルズ」そこは事情を抱えた子どもたちの家
『もう別れてもいいですか』 58歳、勇気を振り絞って離婚を決意。でも、お金がない！
『いい湯じゃのう 1 お庭番とくノ一』 將軍吉宗の頼りにする熱海の湯が届かない！
『朱より赤く 高岡智照尼の生涯』 芸妓、社長夫人、映画女優。明治から昭和、流転の日々
『探花 隠蔽捜査9』 横須賀の捜査に米軍捜査局が参加。警察官僚がらみのトラブルまで
『六つの村を越えて髭をなびかせる者』 アイヌを搾取する松前藩にある男が立ち向かう
『少女を埋める』 なぜ、わたしの家族は解体したのだろう。直木賞作家初の自伝的小説
『古道具おもかげ屋』 風変わりな看板を掲げた古道具屋が、訳あり客の心をときほぐす
『皆のあらばしり』 高校生と怪しい男が求める謎の本。大発見か、それとも偽書か——
『怪物』 台湾空軍のスパイと、彼をモデルに小説を書く作家。二人の物語が交じり合う
『決闘の辻』 宮本武蔵に柳生宗矩。歴史上名高い剣客の「果たし合い」を描く傑作短篇集
『嵐の湯へようこそ！』 昔ながらの銭湯を経営する姉妹のもとに、ご町内の謎が
『一九六一東京ハウス』 60年前の団地生活体験で500万円。番組制作者と二つの家族
『おネコさま御一行 れんげ荘物語』 ネコにイヌ、鳥や花、そして隣人。日常に幸せがある
『ミス・サンシャイン』 大学院生がかつての銀幕のスターと過ごして得た大切な優しさ
『もういいかいまあだだよ』 数々の名曲を生んだシンガー・ソングライターが人生を語る
『日本橋に生まれて 本音を申せば』 忘れがたい喜劇人や作家たちの横顔をふりかえる
『もういちど、あなたと食べたい』 向田邦子、松田優作……人生の名人と囲んだ食卓
『その日まで』 切に愛し、いのちを燃やした作家、99歳の日々。最期の長編エッセイ
『挑戦 常識のプレーキをはずせ』 前人未到の挑戦を続けるふたりの対談

明野 照葉／著 光文社
浅田 次郎／著 新潮社
朝井 まかて／著 祥伝社
伊岡 瞬／著 文藝春秋
五木 寛之／著 幻冬舎
伊東 潤／著 中央公論新社
宇佐美 まこと／著 光文社
垣谷 美雨／著 中央公論新社
風野 真知雄／著 PHP研究所
窪 美澄／著 小学館
今野 敏／著 新潮社
西條 奈加／著 PHP研究所
桜庭 一樹／著 文藝春秋
田牧 大和／著 ポプラ社
乗代 雄介／著 新潮社
東山 彰良／著 新潮社
藤沢 周平／著 新潮社
松尾 由美／著 KADOKAWA
真梨 幸子／著 新潮社
群 ようこ／著 角川春樹事務所
吉田 修一／著 文藝春秋
小椋 佳／著 双葉社
小林 信彦／著 文藝春秋
筒井 とみみ／著 新潮社
瀬戸内 寂聴／著 講談社
山中 伸弥&藤井 聡太／著 講談社

ほかの図書館で所蔵している本や貸出中の本には、予約ができます。くわしくはもよりの図書館へおたずねください。